

この度は、「毎日のお惣菜」頒布会をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

お客さま方の食卓に彩を添える季節の旬のお惣菜を、ひと品ひと品、まごころを込めてお届けいたしますので、味付けやメニュー、サービス等についてお気づきの点がございましたら、同封のはがきなどで、ご意見やご感想等何なりとお寄せくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

平泉・中尊寺

今回「夏頃に、東北に行く予定です。お薦めがあれば…。中尊寺にも行きたい(略)。」とのお葉書をいただき、岩手が誇る世界遺産の「平泉」を記事にしていなかったことに気づき、その中でも「中尊寺」をご紹介します。

十年振りに中尊寺を訪れました。江戸時代に伊達藩が植樹した杉並木の表参道「月見坂」には、「あれ?こんな急な坂だったかなあ?」と体の衰えを感じさせられました(笑)。

中尊寺の山号は関山(かんざん)です。比叡山延暦寺の高僧慈覚大師円仁(じかくだいいしえんにん)により開かれ、12世紀の初めに奥州藤原氏によって繁栄しました。11世紀後半に続いた戦乱で亡くなった霊を敵味方なく慰め、辺境とされた東

北地方に仏国土を建設するという思いで、清衡公が1105年中尊寺の造立に着手します。ここでは、あまり詳しくはかけ

ませんので、ホームページ等で調べてみてくださいね。参道入口の八幡堂より奥の金色堂周辺まで数々のお堂や見どころがたくさんです。中尊寺の御朱印は、11か所13種類あるそうです。金色堂の御朱印所で御朱印帳を購入した方のみ金色堂で見開きの御朱印を頂けます(他の方は普通サイズの御朱印)ので、欲しい方は金色堂から参拝し下りながら他を参拝する方法もあります。金色堂は、国宝建築物第1号で、現在は鉄筋コンクリート造の覆堂内のガラスケースに収められており、残念ながら写真撮影禁止です。その名の通り金箔で覆われた金色に輝き、螺鈿などで装飾された芸術品のようで、必見です。各お堂にそれぞれ趣が異なりますので、全部参拝していただき

たいと思います。私のお勧めの一つに「弁慶堂」があります。

中には坊主頭にハチマキの武蔵坊弁慶、その隣に源義経の木像が安置されています。弁慶は主君のため最期は立ち往生したことが有名ですね。木像もさることながら、せひ中をのぞいて天井を見てください。色とりどりの花々の絵が描かれた、なんと艶っぽい(良い意味ですよ)天井に、外のお堂のただすまいとのギャップに驚かされます。また、7月中旬から8月中旬にかけて800年の時を経てよみがえった「中尊寺ハス」が咲きほこりますので、併せて堪能していただきたいと思えます。弁慶堂のご住職が「子供の頃は、ハスの実(種)をおやつにしましたよ」とお話しされていました。私は食べられることも初めて知りましたが、皆さんご存知でしたか?栗のような味だそうです。平泉・中尊寺にいらしてくださいね。

